

第3回 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催の報告について

- 1 開催日時 令和4年2月14日(月) 午後7時00分～午後9時10分
- 2 開催場所 青少年女性センター 4階 大会議室【委員はウェビナー形式にて実施】

3 議 事

(1) 令和3年度2学期いじめ防止対策の取組状況について

<事務局説明>

① 未然防止への取組

- 「居場所づくり」「絆づくり」を重視した学級・学校づくりについて
 - ・「生徒会・児童会代表者ミーティング」「いじめ防止市民フォーラム」を受け、各学校において報告会等を実施している。
- 心の絆プロジェクト生徒会・児童会代表者ミーティング ※新型コロナウイルス感染拡大により延期
 - ・令和4年度「心の絆プロジェクト」テーマについて、時期を変更し実施予定としている。
- 学校運営協議会との連携による活動の推進について
 - ・各学校運営協議会において、学校経営基本方針、いじめ防止基本方針について、協議を行っている。
 - ・「アセス」「心の相談アンケート」や全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の「いじめに関する内容」を基に、現状について説明を行い、学校・家庭・地域が一体となって実施できることについて協議を行った。

② 早期発見・早期対応への取組

- 児童生徒の相談行動の促進について
 - ・相談行動促進（自殺予防教育）の授業実施率は100%となった。
 - ・事後アンケートの内容等を踏まえ、リーフレットの改善を図る。
- 学校生活に関するアンケート（アセス）の結果と取組について
 - ・1学期に要支援レベル1であった児童生徒の状況が改善している。
 - ・非侵害的関係の値が要支援領域にある児童生徒数は減少している。
 - ・子どもの居場所づくりに向けた体制の強化を図る。
- 心の相談アンケート及び教育相談の実施について
 - ・児童生徒に対し、アンケート及び個別の教育相談を実施した。
- いじめの認知について
 - ・認知件数 小学校：653件 中学校：193件 合計：846件（昨年度比183件増）
 - ・様態内訳 からかい・悪口530件、暴力134件、仲間外れ・無視36件 他
 - ・発見のプロセス 児童生徒から349件、保護者から240件、アンケートから180件 他
- 不登校児童生徒への支援の充実について
 - ・第2回加古川市教育委員会不登校児童生徒対策本部会議、加古川市教育委員会不当個対策推進委員会を実施した。
 - ・メンタルサポーターの配置及び適応指導教室の拡充を検討している。
 - ・フリースクールを招いての情報交換を実施した。

③ 関係機関との連携を強化した取組

- スクールサポートチームの活動状況について
 - ・学校支援カウンセラーによるアウトリーチ件数：37件(昨年度同時期比1件増)

- ・学校支援ソーシャルワーカーによる対応件数：418件
- ・スクールロイヤー相談件数：14件(昨年度同時期比1件増)
- ネットパトロール事業の実施状況について
 - ・専門機関からの情報提供数：1,585件(うち学校への対応依頼35件)
 - ・学校への対応依頼分については、当該生徒への指導、保護者への協力依頼を含め対応済み

④ 推進体制・検証体制を整える取組

- アセス推進体制の検証と支援について
 - ・一人1台端末を利用したアンケートの実施を支援している。
- いじめ対策委員会及び不登校対策推進委員会の機能的な運用について
 - ・ユニット別不登校対策委員会(ユニット情報交換会)を実施している。

<各委員の主な助言等>

- ◆ フリースクールとの連携など、これまでになかった動きが出てきており評価できる。
- ◆ コミュニケーション能力を高める取組は大切であるが、前提となるネガティブな気持ちを受け止め、子どものSOSを丁寧にキャッチすることに努めて欲しい。
- ◆ 福祉的な視点での支援のニーズが高まっていることもあり、市教育委員会だけではなく、市長部局も交えた体系的な支援の在り方についても今後考えていく必要があるのではないかと。

(2) 令和3年度2学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検について

<事務局説明>

令和3年度2学期いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート(まとめ)について

- いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート(まとめ)についての報告
- 各学校の特色ある取組についての報告

<各委員の主な助言等>

- ◆ インターネットのルール作りなどに生徒が参画している状況は望ましい。教職員も引き続き支えながらこういった取組を大切にしてもらいたい。
- ◆ 研修の機会を確保することが難しいという意見もあり、それだけ教職員の多忙化が背景にあると思う。一方で必要な研修の機会を確保することは重要であるため、研修内容の軽重を考え実施する工夫についても考えてもらいたい。
- ◆ 児童生徒の作成したインターネットルールの資料など次回以降にでも資料提供をいただきたい。また、各学校の取組が横の連携として共有できるように取り組んでもらいたい。

(3) 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画(2022年度版)について

<事務局説明>

- 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画2022年度版(案)に関する説明
- いじめ防止対策改善プログラム2022年度版(案)に関する説明

<各委員の主な助言>

- ◆ これまでの取組を踏まえ、計画案は良いものになっているので、大きく変更する必要はないと考える。
- ◆ いよいよ、5か年計画の最終年度となる。最終年度の計画を実施しつつ、5か年計画終了後のいじめ防止対策をどのようにすすめていくかについて、最終年1年間で評価検証委員会も協力しながら、考えていきたい。

(4) 学校での対応事例について

議事資料が個人や事案を特定できる可能性のある情報を含むため非公開とする。

4 令和4年度 第1回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について

日 時：令和4年5月31日(火) 午後7時～

内 容：令和3年度3学期の取組状況に係る評価検証について